

市指定文化財<彫刻>

てんとくじじぞうぞう
天徳寺地蔵像

てんとくじいだてんぞう
天徳寺韋駄天像

てんとくじしやかぞう
天徳寺釈迦像

てんとくじかいざんぞう
天徳寺開山像

指定日 昭和42年3月24日

所在地 菊池市泗水町田島 天徳寺



地蔵像



韋駄天像



釈迦像



開山像

『肥後国誌』によると、「天徳寺は文永の役(1274)の時、北条^{ゆきとき}隨時・定宗が当国に下向し、此の所の長、大森^{なにがし}某と謀って再興す」とある。開山時期は不明であるが、寺号の天徳(957~961)ならば平安時代になる。

(1)地蔵像 鎌倉時代の木彫立像で、像高は約160cm。写実的で装飾的な彫りもすばらしく、鎌倉時代の秀作といわれ、県内の地蔵像では山鹿市鹿央町、康平寺の仏像に次いで古いといわれる。

(2)韋駄天像 室町時代の作。珍しい石彫立像で、像高55cm。気迫に満ちた面相をしている。

(3)釈迦像 像高約20cmの小さな木彫座像で、室町時代の作といわれている。

(4)開山像 像高約45cmの木彫座像で、室町時代の作といわれている。